

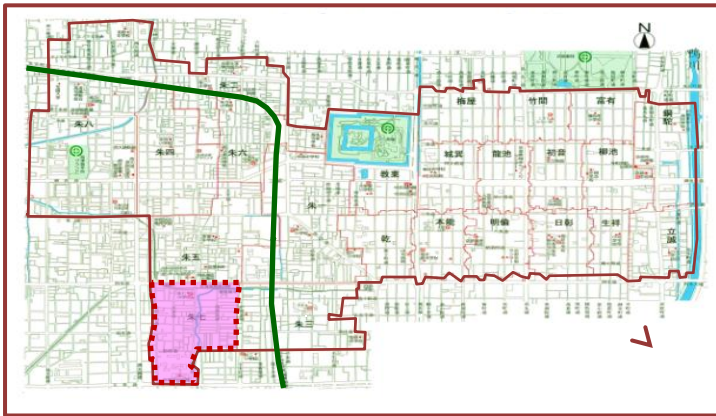


朱雀第七学区

朱雀第七学区は、北は^{しじょう}四条通、南は^{まつばら}松原通に面し、^{おんまえ}御前通が学区の中心を南北に貫いています。

学区の子どもたちの多くが通う朱雀第七小学校からは、約1万年前の縄文時代の^{ゆうけいせんとうき}有茎尖頭器(槍の先につける石器)が発掘されています。

現在は京都市立病院をはじめ多くの医療機関があり、スーパーや商店街も数多くあります。地域では高齢者を盛り上げるために、朱雀第七小学校で毎年9月の敬老の日に「敬老会」が開催されるほか、健康寿命をのばすためにスポーツ等の様々な取組が行われています。



京都市 立朱雀第七小学校

学区の文化や歴史的建造物など

^{きょうとしりつびょういん} 京都市立病院 ^{きょうとくあんだいがく} 京都看護大学

^{れんけい} と連携した ^{けんこうちようじゅ} 健康長寿の ^{ぶんか} 文化

京都市立病院の前身は明治15(1882)年に^{じゅらくまわりまつした}聚楽廻松下町に設置された伝染病院の上京公立^{ひびょういん}避病院で、その後、他の病院と合併されて、大正4(1915)年に現在の^{みぶひがしたかだ}壬生東高田町に開設されました。昭和43(1968)年には日本で初めて臨床研修医を2名採用するなど、先進的な取組をしてきました。

京都市立病院に隣接する京都看護大学は、京都市立看護短期大学の伝統を受け継いで平成26(2014)年に開校し、京都府内唯一の看護単科大学・大学院として、社会に貢献する看護専門職の人材を育成しています。

京都市立病院では地域の要望に応じた出前講座等を実施し、京都看護大学は地域とともに市民公開講座や献血促進等に取り組むなど、地域ではこれらの施設とともに健康長寿の文化が受け継がれています。



市立病院



看護大学

自治会・町内会に加入しましょう

朱雀第七自治連合会

朱雀第七自治連合会は学区内にある32の自治会・町内会と、各種団体が協働し、地域の活性化と安心安全、問題解決に取り組む、地域住民による組織です。

主な年間行事

9月 敬老会

10月 区民体育祭

11月 京都看護大学学園祭参加による献血促進事業

京都看護大学と連携したウォーキングチャレンジ

1月 新年会



※例年実施していました主な行事ですが、新型コロナウイルス感染症予防対策として、開催を自粛する場合があります